

【全エリア】

意見番号		意見等
1	エリアに対する考え方	
	当該エリアの課題	地図だけでは安易に判断出来ません。
	当該エリアの利点	地図だけでは安易に判断出来ません。
	事業を実施するために必要と考える行政支援・その他要望等	まずは貴県庁と地元の漁業関係者及び港湾関係者で事前に十分な話し合いを実施して、将来的に風車を敷設しても地元の作業(事業)に影響しない旨を明確にするのが第一歩であると考えます。その上で風況観測(解析)やアセスメントの初期調査などに補助金をつける形が望ましいと思料する。洋上風力は事前の風況観測は初期アセスなど費用が陸上風力とは異なり大変高額なる為、或る程度の事前の合意形成が必須である。(計画及び開発の途上で地元と揉めている案件が国内で既にあります。十分にご留意下さい。)
	自由意見	上述の通り、図面のみでは事業適地かどうかの判断が付きません。上述の通りまずは宮城県庁側である程度サイト候補地の絞り込みを実施した上で、風況観測やアセスメントの初期調査などを民間企業に実施させるべきです。特に地元の関係者間での合意形成がないままでの事業検討は非常にリスクがあります。これは他府県での開発の進め方を見ても非常に明確です。ご検討下さい。
意見番号		意見等
2	自由意見	現段階では海域指定することは出来ませんが、今後詳細な調査や地元の要望等をお聞きし、精査した上で決定していきたい。

【01気仙沼沿岸】

意見番号		意見等
1	エリアに対する考え方	事業化の可能性が低い
	当該エリアの課題	<ul style="list-style-type: none"> ・システムの空き容量がほとんどない ・漁業区域、国立公園区域以外は水深が深く、適地が限定的。 ・漁業が盛ん故、漁業者との共存が難しい ・津波被災リスクが高い
	当該エリアの利点	港湾に近く、基地港として利活用できる可能性がある
	事業を実施するために必要と考える行政支援・その他要望等	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業者との交渉、エリア調整を行政にて行っていただきたい。 ・連系容量の確保を行政にて行っていただきたい
	自由意見	
意見番号		意見等
2	エリアに対する考え方	事業化の可能性が低い
	当該エリアの課題	<ul style="list-style-type: none"> ・システムの空き容量が無い。 ・風況があまりよくない。
	当該エリアの利点	
	事業を実施するために必要と考える行政支援・その他要望等	
	自由意見	
意見番号		意見等
3	エリアに対する考え方	事業化の可能性が低い
	当該エリアの課題	<ul style="list-style-type: none"> ・リアス式海岸で海底が岩盤と想定されるため、杭の打設が難しい(重力式はコスト高になる可能性あり) ・建設時の基地港となる港湾から遠い(コストに反映される) ・一般海域のため法整備が必要 ・国立公園区域を外すと、水深が深く建設費がかさむ
	当該エリアの利点	
	事業を実施するために必要と考える行政支援・その他要望等	一般海域における長期の海域占用が可能となる条例・規則の整備
	自由意見	事業採算性を考えると、水深40m 以浅で活用できるエリアを探すべきでは。(浮体式の商用化はまだまだ先)
意見番号		意見等
4	エリアに対する考え方	<ul style="list-style-type: none"> 事業を実施してみたい 条件によっては、事業化の可能性はある
	当該エリアの課題	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業関係者をはじめとする既存権利者との権利調整(権利者の特定を含む) ・水深による工法の選択 ・系統容量の確保(負担金の低減)
	当該エリアの利点	
	事業を実施するために必要と考える行政支援・その他要望等	<ul style="list-style-type: none"> ・海域における占用許可基準の明確化 ・権利者の特定 ・漁業関係者との仲裁 ・公園内での風力発電設置に関する制度整理 ・景観に関する整理 ・系統整備に関する送配電事業者等との調整
	自由意見	
意見番号		意見等
5	エリアに対する考え方	事業化の可能性が低い
	当該エリアの課題	
	当該エリアの利点	
	事業を実施するために必要と考える行政支援・その他要望等	
	自由意見	

【02 歌津沿岸】

意見番号		意見等
1	エリアに対する考え方	事業化の可能性が低い
	当該エリアの課題	<ul style="list-style-type: none"> ・システムの空き容量がほとんどない ・漁業区域、国立公園区域以外は水深が深く、適地がほとんどない ・漁業が盛ん故、漁業者との共存が難しい ・津波被災リスクが高い
	当該エリアの利点	
	事業を実施するために必要と考える行政支援・その他要望等	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業者との交渉、エリア調整を行政にて行っていただきたい ・連系容量の確保を行政にて行っていただきたい
	自由意見	
意見番号		意見等
2	エリアに対する考え方	事業化の可能性が低い
	当該エリアの課題	<ul style="list-style-type: none"> ・システムの空き容量が無い。 ・風況があまりよくない。
	当該エリアの利点	
	事業を実施するために必要と考える行政支援・その他要望等	
	自由意見	
意見番号		意見等
3	エリアに対する考え方	事業化の可能性が低い
	当該エリアの課題	<ul style="list-style-type: none"> ・リアス式海岸で海底が岩盤と想定されるため、杭の打設が難しい(重力式はコスト高になる可能性あり) ・建設時の基地港となる港湾から遠い(コストに反映される) ・一般海域のため法整備が必要 ・国立公園区域を外すと、水深が深く建設費がかさむ
	当該エリアの利点	
	事業を実施するために必要と考える行政支援・その他要望等	一般海域における長期の海域占用が可能となる条例・規則の整備
	自由意見	事業採算性を考えると、水深40m 以浅で活用できるエリアを探すべきでは。(浮体式の商用化はまだまだ先)
意見番号		意見等
4	エリアに対する考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・事業を実施してみたい ・条件によっては、事業化の可能性はある
	当該エリアの課題	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業関係者をはじめとする既存権利者との権利調整(権利者の特定を含む) ・水深による工法の選択 ・系統容量の確保(負担金の低減)
	当該エリアの利点	
	事業を実施するために必要と考える行政支援・その他要望等	<ul style="list-style-type: none"> ・海域における占用許可基準の明確化 ・権利者の特定 ・漁業関係者との仲裁 ・公園内での風力発電設置に関する制度整理 ・景観に関する整理 ・系統整備に関する送配電事業者等との調整
	自由意見	・南三陸町とは「わたす日本橋」等震災復興で協力関係にあり、風力発電についても協力を検討したい。
意見番号		意見等
5	エリアに対する考え方	事業化の可能性が低い
	当該エリアの課題	
	当該エリアの利点	
	事業を実施するために必要と考える行政支援・その他要望等	
	自由意見	

【03 雄勝沿岸】

意見番号		意見等
1	エリアに対する考え方	事業化の可能性が低い
	当該エリアの課題	<ul style="list-style-type: none"> ・システムの空き容量は少ない ・漁業区域、国立公園区域以外は水深が深く、適地がほとんどない ・漁業が盛ん故、漁業者との共存が難しい ・津波被災リスクが高い
	当該エリアの利点	・港湾に近く、基地港として利活用できる可能性がある
	事業を実施するために必要と考える行政支援・その他要望等	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業者との交渉、エリア調整を行政にて行っていただきたい ・連系容量の確保を行政にて行っていただきたい
	自由意見	
意見番号		意見等
2	エリアに対する考え方	条件によっては、事業化の可能性はある
	当該エリアの課題	風況はあまりよくないが、浮体式を前提に検討をするのであれば、もう少々沖合に出て風況の改善が可能かもしれない。
	当該エリアの利点	14.5MWの系統空き容量がある
	事業を実施するために必要と考える行政支援・その他要望等	
	自由意見	沿岸部は漁業権が設定されているが、沖にできれば回避できるかと思われる。また、リアス式海岸の景観を損ねぬよう、沖合に浮体式で施工する可能性を模索する価値ありと思われる
意見番号		意見等
3	エリアに対する考え方	事業化の可能性が低い
	当該エリアの課題	<ul style="list-style-type: none"> ・リアス式海岸で海底が岩盤と想定されるため、杭の打設が難しい(重力式はコスト高になる可能性あり) ・建設時の基地港となる港湾から遠い(コストに反映される) ・一般海域のため法整備が必要 ・国立公園区域を外すと、水深が深く建設費がかさむ
	当該エリアの利点	
	事業を実施するために必要と考える行政支援・その他要望等	一般海域における長期の海域占用が可能となる条例・規則の整備
	自由意見	事業採算性を考えると、水深40m 以浅で活用できるエリアを探すべきでは。(浮体式の商用化はまだまだ先)
意見番号		意見等
4	エリアに対する考え方	事業を実施してみたい 条件によっては、事業化の可能性はある
	当該エリアの課題	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業関係者をはじめとする既存権利者との権利調整(権利者の特定を含む) ・水深による工法の選択 ・系統容量の確保(負担金の低減)
	当該エリアの利点	
	事業を実施するために必要と考える行政支援・その他要望等	<ul style="list-style-type: none"> ・海域における占用許可基準の明確化 ・権利者の特定 ・漁業関係者との仲裁 ・公園内での風力発電設置に関する制度整理 ・景観に関する整理 ・系統整備に関する送配電事業者等との調整
	自由意見	
意見番号		意見等
5	エリアに対する考え方	事業化の可能性が低い
	当該エリアの課題	
	当該エリアの利点	
	事業を実施するために必要と考える行政支援・その他要望等	
	自由意見	

【04 硯上山】

意見番号		意見等
1	エリアに対する考え方	事業化の可能性が低い
	当該エリアの課題	<ul style="list-style-type: none"> ・システムの空き容量がやや少ない ・地形の起伏が激しく、造成コストが高いと想定される ・希少動植物が多く、開発エリアが限定される
	当該エリアの利点	<ul style="list-style-type: none"> ・他地域に比べ系統に空き容量がある
	事業を実施するために必要と考える行政支援・その他要望等	<ul style="list-style-type: none"> ・保安林解除を行政で行っていただきたい
	自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模ウインドファーム建設は現状困難であるが、小規模であれば可能性はある
意見番号		意見等
2	エリアに対する考え方	事業を実施してみたい 条件によっては、事業化の可能性はある
	当該エリアの課題	<ul style="list-style-type: none"> ・風車搬入動線 ・系統容量の確保 ・猛禽類の調査
	当該エリアの利点	
	事業を実施するために必要と考える行政支援・その他要望等	<ul style="list-style-type: none"> ・公園内での風力発電設置に関する整理 ・景観に関する整理
	自由意見	
意見番号		意見等
3	エリアに対する考え方	事業化の可能性が低い
	当該エリアの課題	
	当該エリアの利点	
	事業を実施するために必要と考える行政支援・その他要望等	
	自由意見	
意見番号		意見等
4	エリアに対する考え方	条件によっては、事業化の可能性はある
	当該エリアの課題	<ul style="list-style-type: none"> ・イヌワシ繁殖地が近く、生息の可能性が高い ・県立自然公園の普通地域、第三種特別地域であること
	当該エリアの利点	<ul style="list-style-type: none"> ・連系点(女川変電所)までの距離が短く、空要領があること
	事業を実施するために必要と考える行政支援・その他要望等	<ul style="list-style-type: none"> ・県立自然公園への風車設置を認めて頂くこと
	自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ・輸送路は確認が必要

【05 女川沖】

意見番号		意見等
1	エリアに対する考え方	事業化の可能性が低い
	当該エリアの課題	<ul style="list-style-type: none"> ・系統の空き容量がやや少なく、洋上WFとしては連系容量不足 ・漁業区域、国立公園区域以外は水深が深く、適地が限定的 ・漁業が盛ん故、漁業者との共存が難しい ・津波被災リスクが高い
	当該エリアの利点	
	事業を実施するために必要と考える行政支援・その他要望等	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業者との交渉、エリア調整を行政にて行っていただきたい ・連系容量の確保を行政にて行っていただきたい
	自由意見	
意見番号		意見等
2	エリアに対する考え方	事業を実施してみたい
	当該エリアの課題	風況はあまりよくないが、浮体式を前提に検討をするのであれば、もう少々沖合に出て風況の改善が可能かもしれない。
	当該エリアの利点	系統に46MWの空容量がある。
	事業を実施するために必要と考える行政支援・その他要望等	
	自由意見	沿岸部は漁業権が設定されているが、沖にできれば回避できるかと思われる。また、リアス式海岸の景観を損ねぬよう、沖合に浮体式で施工する可能性を模索する価値ありと思われる
意見番号		意見等
3	エリアに対する考え方	事業化の可能性が低い
	当該エリアの課題	<ul style="list-style-type: none"> ・リアス式海岸で海底が岩盤と想定されるため、杭の打設が難しい(重力式はコスト高になる可能性あり) ・建設時の基地港となる港湾から遠い(コストに反映される) ・一般海域のため法整備が必要 ・国立公園区域を外すと、水深が深く建設費がかさむ
	当該エリアの利点	
	事業を実施するために必要と考える行政支援・その他要望等	一般海域における長期の海域占用が可能となる条例・規則の整備
	自由意見	事業採算性を考えると、水深40m 以浅で活用できるエリアを探すべきでは。(浮体式の商用化はまだまだ先)
意見番号		意見等
4	エリアに対する考え方	事業を実施してみたい 条件によっては、事業化の可能性はある
	当該エリアの課題	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業関係者をはじめとする既存権利者との権利調整(権利者の特定を含む) ・水深による工法の選択 ・系統容量の確保(負担金の低減)
	当該エリアの利点	・風況
	事業を実施するために必要と考える行政支援・その他要望等	<ul style="list-style-type: none"> ・海域における占用許可基準の明確化 ・権利者の特定 ・漁業関係者との仲裁 ・公園内での風力発電設置に関する制度整理 ・景観に関する整理 ・系統整備に関する送配電事業者等との調整
	自由意見	

意見番号		意見等
5	エリアに対する考え方	条件によっては、事業化の可能性はある
	当該エリアの課題	・浮体式洋上風力発電に対する候補地として、より風況のよい、現在の海域より沖合(水深150m以上)も候補地とすることが望ましい。
	当該エリアの利点	・水深100m以上の海域は、7.1~8.0m程度の年平均風速が想定される。 ・町の取組み姿勢が前向きである。
	事業を実施するために必要と考える行政支援・その他要望等	・漁業関係者等との協調に向けた支援 ・系統連系量の確保に向けた支援 ・一般海域の占用許可に対する支援 ・施工ヤード等の確保に向けた支援
	自由意見	・浮体式洋上風力発電事業を円滑に進めるため、風況観測に加え事前環境調査等を行うことが望ましいと考える。
意見番号		意見等
6	エリアに対する考え方	事業化の可能性が低い
	当該エリアの課題	
	当該エリアの利点	
	事業を実施するために必要と考える行政支援・その他要望等	
	自由意見	

【06 牡鹿半島】

意見番号		意見等
1	エリアに対する考え方	条件によっては、事業化の可能性はある
	当該エリアの課題	<ul style="list-style-type: none"> ・システムの空き容量がやや少ない ・地形の起伏が激しく、造成コストが高いと想定される ・国立公園地域、自然公園地域が多く開発エリアが限定される ・土石流危険渓流が多く、防災施設にコストがかかる
	当該エリアの利点	<ul style="list-style-type: none"> ・風況が比較的良い ・他地域に比べ系統に空き容量がある
	事業を実施するために必要と考える行政支援・その他要望等	・国立公園地域、自然公園地域における風車設置に係る規制緩和等が必要であり、行政支援が不可欠
	自由意見	
意見番号		意見等
2	エリアに対する考え方	事業化の可能性が高い 事業を実施してみたい 条件によっては、事業化の可能性はある
	当該エリアの課題	<ul style="list-style-type: none"> ・風車搬入動線 ・系統容量の確保
	当該エリアの利点	・風況
	事業を実施するために必要と考える行政支援・その他要望等	<ul style="list-style-type: none"> ・公園内での風力発電設置に関する整理 ・景観に関する整理
	自由意見	・当社として当該エリアで風力発電の事業化検討をしたことがある
意見番号		意見等
3	エリアに対する考え方	事業化の可能性が低い
	当該エリアの課題	
	当該エリアの利点	
	事業を実施するために必要と考える行政支援・その他要望等	
	自由意見	

【07 金華山沿岸】

意見番号		意見等
1	エリアに対する考え方	事業化の可能性が低い
	当該エリアの課題	<ul style="list-style-type: none"> ・システムの空き容量がやや少なく、洋上WFとしては連系容量不足 ・漁業が盛ん故、漁業者との共存が難しい ・漁業区域、国立公園区域以外は水深が深く、適地がほとんどない ・津波被災リスクが高い
	当該エリアの利点	<ul style="list-style-type: none"> ・風況が比較的良い
	事業を実施するために必要と考える行政支援・その他要望等	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業者との交渉、エリア調整を行政にて行っていただきたい ・連系容量の確保を行政にて行っていただきたい
	自由意見	
意見番号		意見等
2	エリアに対する考え方	事業化の可能性が高い
	当該エリアの課題	
	当該エリアの利点	<ul style="list-style-type: none"> ・系統に40MWの空き容量がある ・風況が良い。
	事業を実施するために必要と考える行政支援・その他要望等	
	自由意見	<p>信仰の対象であること、観光地であること、良い漁場であることを鑑みると、景観を崩さないように浮体式を選択肢、沖に設置することも視野に入れる必要があると思います。</p>
意見番号		意見等
3	エリアに対する考え方	事業化の可能性が低い
	当該エリアの課題	<ul style="list-style-type: none"> ・リアス式海岸で海底が岩盤と想定されるため、杭の打設が難しい(重力式はコスト高になる可能性あり) ・建設時の基地港となる港湾から遠い(コストに反映される) ・一般海域のため法整備が必要 ・国立公園区域を外すと、水深が深く建設費がかさむ
	当該エリアの利点	
	事業を実施するために必要と考える行政支援・その他要望等	一般海域における長期の海域占用が可能となる条例・規則の整備
	自由意見	事業採算性を考えると、水深40m 以浅で活用できるエリアを探すべきでは。(浮体式の商用化はまだまだ先)
意見番号		意見等
4	エリアに対する考え方	<p>事業を実施してみたい</p> <p>条件によっては、事業化の可能性はある</p>
	当該エリアの課題	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業関係者をはじめとする既存権利者との権利調整(権利者の特定を含む) ・水深による工法の選択 ・系統容量の確保(負担金の低減) ・猛禽類の調査
	当該エリアの利点	<ul style="list-style-type: none"> ・風況
	事業を実施するために必要と考える行政支援・その他要望等	<ul style="list-style-type: none"> ・海域における占用許可基準の明確化 ・権利者の特定 ・漁業関係者との仲裁 ・公園内での風力発電設置に関する制度整理 ・景観に関する整理 ・系統整備に関する送配電事業者等との調整
	自由意見	
意見番号		意見等
5	エリアに対する考え方	事業化の可能性が低い
	当該エリアの課題	
	当該エリアの利点	
	事業を実施するために必要と考える行政支援・その他要望等	
	自由意見	

【08 田代島・網地島】

意見番号		意見等
1	エリアに対する考え方	条件によっては、事業化の可能性がある
	当該エリアの課題	<ul style="list-style-type: none"> ・系統の空き容量がやや少なく、洋上WFとしては連系容量不足 ・漁業が盛ん故、漁業者との共存が難しい ・漁業区域、国立公園区域以外は水深が深く、適地が限定的 ・津波被災リスクが高い
	当該エリアの利点	<ul style="list-style-type: none"> ・風況が比較的良い
	事業を実施するために必要と考える行政支援・その他要望等	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業者との交渉、エリア調整を行政にて行っていただきたい ・連系容量の確保を行政にて行っていただきたい
	自由意見	
意見番号		意見等
2	エリアに対する考え方	事業化の可能性がある
	当該エリアの課題	
	当該エリアの利点	<ul style="list-style-type: none"> ・系統に40MWの空き容量がある ・風況が良い
	事業を実施するために必要と考える行政支援・その他要望等	
	自由意見	
意見番号		意見等
3	エリアに対する考え方	条件によっては、事業化の可能性がある
	当該エリアの課題	<ul style="list-style-type: none"> ・リアス式海岸で海底が岩盤と想定されるため、杭の打設が難しい ・一般海域のため法整備が必要
	当該エリアの利点	建設時に想定される基地港(石巻港)から比較的近い
	事業を実施するために必要と考える行政支援・その他要望等	一般海域における長期の海域占用が可能となる条例・規則の整備
	自由意見	
意見番号		意見等
4	エリアに対する考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・事業化の可能性がある ・事業を実施してみたい ・条件によっては、事業化の可能性がある
	当該エリアの課題	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業関係者をはじめとする既存権利者との権利調整(権利者の特定を含む) ・水深による工法の選択 ・系統容量の確保(負担金の低減)
	当該エリアの利点	<ul style="list-style-type: none"> ・風況
	事業を実施するために必要と考える行政支援・その他要望等	<ul style="list-style-type: none"> ・海域における占用許可基準の明確化 ・権利者の特定 ・漁業関係者との仲裁 ・公園内での風力発電設置に関する制度整理 ・景観に関する整理 ・系統整備に関する送配電事業者等との調整
	自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ・当社として当該エリアで風力発電の事業化検討をしたことがある
意見番号		意見等
5	エリアに対する考え方	事業化の可能性がある
	当該エリアの課題	
	当該エリアの利点	
	事業を実施するために必要と考える行政支援・その他要望等	
	自由意見	

【09 石巻港】

意見番号		意見等
1	エリアに対する考え方	条件によっては、事業化の可能性がある
	当該エリアの課題	<ul style="list-style-type: none"> ・系統の空き容量がやや少なく、洋上WFとしては連系容量不足 ・漁業が盛ん故、漁業者との共存が難しい ・船舶の往来が多い ・津波被災リスクが高い ・湾内のため、海底地質が悪い可能性が高い
	当該エリアの利点	<ul style="list-style-type: none"> ・港湾に近く、基地港として利活用できる可能性がある ・風況が比較的良い ・水深が比較的浅く、建設にメリットあり
	事業を実施するために必要と考える行政支援・その他要望等	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業者との交渉、エリア調整を行政にて行っていただきたい ・連系容量の確保を行政にて行っていただきたい ・航路等のエリア調整を行政にて行っていただきたい
	自由意見	
意見番号		意見等
2	エリアに対する考え方	事業化の可能性がある
	当該エリアの課題	<ul style="list-style-type: none"> ・一般海域のエリアでは法整備が必要
	当該エリアの利点	<ul style="list-style-type: none"> ・建設時に想定される基地港(石巻港)から近い ・北上川からの土砂供給で砂質土が広がっていれば杭の打設が可能 ・石巻港の外郭施設建設時のボーリングデータや波浪データがあり、概略検討が可能
	事業を実施するために必要と考える行政支援・その他要望等	一般海域における長期の海域占用が可能となる条例・規則の整備
	自由意見	北九州港のように港湾区域を拡大し、再生可能エネルギー活用エリアを広くしてはどうか。
意見番号		意見等
3	エリアに対する考え方	事業化の可能性がある
		事業を実施してみたい
		条件によっては、事業化の可能性がある
	当該エリアの課題	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業関係者をはじめとする既存権利者との権利調整(権利者の特定を含む) ・系統容量の確保(負担金の低減)
	当該エリアの利点	<ul style="list-style-type: none"> ・港湾区域内は占用許可の基準が明確である。 ・水深が浅く、着床式での検討が可能である。
	事業を実施するために必要と考える行政支援・その他要望等	<ul style="list-style-type: none"> ・海域における占用許可基準の明確化 ・権利者の特定 ・漁業関係者との仲裁 ・公園内での風力発電設置に関する制度整理 ・景観に関する整理 ・系統整備に関する送配電事業者等との調整
自由意見		

意見番号		意見等
4	エリアに対する考え方	事業化の可能性が高い 注:対象区域として、石巻工業港地区(敷地内及び沿岸地区)において事業可能性が高い。
	当該エリアの課題	1)来年度以降FITの買取単価が低下していく一方、当該エリアは経済性の高い風況が期待できないことから、可能な限り早いタイミングでの設備認定の取得が求められる。 2)当該エリアのなかで、特に石巻工業港の陸上敷地及びその沿岸地区における風力発電についての課題として、石巻港が重要港湾であることから法的な制約が多い。 3)隣接する東松島の自衛隊航空基地があることによる港湾地区の一部は設置できない制約がある。 4)工業地域の北側には新たな住宅も建てられており、ある程度の距離は確保できるものの、住民の理解が必要になる。
	当該エリアの利点	1)法的制約について港湾法以外(自然公園・農地・保安林等)の制約がほとんどない。 2)系統連系について比較的十分な空容量があり、変電所も近傍である。 3)住宅地区からある程度の距離を確保できる。 4)港湾地域であり、平坦な土地・沿岸での設置になるため、輸送・搬入経路確保、施工等が比較的容易である。 5)環境省による風況調査がすでに実施されたポイントがあり、周辺地区での事業化を検討する基礎データとして利用出来る。 6)近傍に漁港があるが、工業地域での陸上の設置であることから、漁協関係者からの反対意見は比較的弱いものと思われる。
	事業を実施するために必要と考える行政支援・その他要望等	1)港湾エリア未利用地や分譲地での風力発電開発を港湾計画で可能にするための規制緩和(港湾利用目的に風力発電も含める措置)を可能にする支援をいただきたい。 2)実施において協議会等を設置して事業化検討を進める必要があれば、協議会の設置運営の支援をお願いしたい。 3)宮城県や該当地域の企業や地元資本による風力発電開発になんらかのインセンティブを与える政策を検討していただきたい。
	自由意見	大きな津波被害を受けた石巻での風力発電開発について、地域外事業者による大規模風力発電ではなく、地域の住民や企業が賛同参画する事業化を進め、地域復興や地域経済にもメリットのあるスキームを計画していきたいと考えている。 そうした事業構築に向けて自治体(県・市)と相談協議を進めていける環境を構築していくことが重要と考えている。 市民風力発電が手がけてきた事業内容等について共有させていただく機会があればと思います。
意見番号		意見等
5	エリアに対する考え方	事業化の可能性が低い
	当該エリアの課題	
	当該エリアの利点	
	事業を実施するために必要と考える行政支援・その他要望等	
	自由意見	
意見番号		意見等
6	エリアに対する考え方	条件によっては、事業化の可能性はある
	当該エリアの課題	・港湾利用者との調整 ・埋立地の利用(利用目的に制限がある場合)
	当該エリアの利点	・港からの風力発電機等の資機材の輸送が容易
	事業を実施するために必要と考える行政支援・その他要望等	・港湾管理者として風力発電事業の積極的受入れ ・港湾利用者との調整の主導 ・埋立地の利用許可(利用目的に制限がある場合) ・宮城県主導での洋上での風況調査 ・宮城県県主導で環境アセスメント(配慮書・方法書)の手続き
	自由意見	より風況が良いと見込まれる沖合に風力発電機設置を前提とした港湾区域の拡張がなされると、事業化可能性が高まると考えられる。

【10 仙台沿岸】

意見番号		意見等
1	エリアに対する考え方	事業化の可能性が低い
	当該エリアの課題	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業が盛ん故、漁業者との共存が難しい ・船舶の往来が多い ・湾内のため、海底地質が悪い可能性が高い ・風況が良くない ・津波被災リスクが高い
	当該エリアの利点	<ul style="list-style-type: none"> ・系統の空き容量が比較的多い ・港湾に近く、基地港として活用できる可能性がある ・水深が比較的浅く、建設にメリットあり
	事業を実施するために必要と考える行政支援・その他要望等	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業者との交渉、エリア調整を行政にて行っていただきたい ・航路等のエリア調整を行政にて行っていただきたい
	自由意見	
意見番号		意見等
2	エリアに対する考え方	条件によっては、事業化の可能性はある
	当該エリアの課題	<ul style="list-style-type: none"> ・一般海域のエリアでは法整備が必要
	当該エリアの利点	<ul style="list-style-type: none"> ・建設時に想定される基地港(仙台塩釜港)から近い ・七北田川からの土砂供給で砂質土が広がっていれば杭の打設が可能 ・仙台塩釜港の外郭施設建設時のボーリングデータや波浪データがあり、概略検討が可能
	事業を実施するために必要と考える行政支援・その他要望等	一般海域における長期の海域占用が可能となる条例・規則の整備
	自由意見	北九州港のように港湾区域を拡大し、再生可能エネルギー活用エリアを広くしてはどうか。
意見番号		意見等
3	エリアに対する考え方	事業を実施してみたい 条件によっては、事業化の可能性はある
	当該エリアの課題	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業関係者をはじめとする既存権利者との権利調整(権利者の特定を含む) ・系統容量の確保(負担金の低減)
	当該エリアの利点	<ul style="list-style-type: none"> ・港湾区域内は占用許可の基準が明確である。 ・水深が浅く、着床式での検討が可能である。
	事業を実施するために必要と考える行政支援・その他要望等	<ul style="list-style-type: none"> ・海域における占用許可基準の明確化 ・権利者の特定 ・漁業関係者との仲裁 ・公園内での風力発電設置に関する制度整理 ・景観に関する整理 ・系統整備に関する送配電事業者等との調整
	自由意見	
意見番号		意見等
4	エリアに対する考え方	事業化の可能性が低い
	当該エリアの課題	
	当該エリアの利点	
	事業を実施するために必要と考える行政支援・その他要望等	
	自由意見	

【11 亘理・山元沿岸】

意見番号		意見等
1	エリアに対する考え方	事業化の可能性が低い
	当該エリアの課題	・系統の空き容量が少なく、洋上WFとしては連系容量不足 ・漁業が盛ん故、漁業者との共存が難しい ・津波被災リスクが高い
	当該エリアの利点	・水深が比較的浅く、建設にメリットあり
	事業を実施するために必要と考える行政支援・その他要望等	・漁業者との交渉、エリア調整を行政にて行っていただきたい ・連系容量の確保を行政にて行っていただきたい
	自由意見	
意見番号		意見等
2	エリアに対する考え方	条件によっては、事業化の可能性はある
	当該エリアの課題	・一般海域なので法整備が必要
	当該エリアの利点	・建設時に想定される基地港(仙台塩釜港)から比較的近い ・阿武隈川からの土砂供給で砂質土が広がっていれば杭の打設が可能
	事業を実施するために必要と考える行政支援・その他要望等	一般海域における長期の海域占用が可能となる条例・規則の整備
	自由意見	
意見番号		意見等
3	エリアに対する考え方	事業を実施してみたい
		条件によっては、事業化の可能性はある
	当該エリアの課題	・漁業関係者をはじめとする既存権利者との権利調整(権利者の特定を含む) ・水深による工法の選択 ・系統容量の確保(負担金の低減)
	当該エリアの利点	
	事業を実施するために必要と考える行政支援・その他要望等	・海域における占用許可基準の明確化 ・権利者の特定 ・漁業関係者との仲裁 ・公園内での風力発電設置に関する制度整理 ・景観に関する整理 ・系統整備に関する送配電事業者等との調整
	自由意見	
意見番号		意見等
4	エリアに対する考え方	事業化の可能性が高い
	当該エリアの課題	漁業関係者との調整 海岸エリアであるため、所管省庁との調整
	当該エリアの利点	被災エリアのため、居住者がいない。 陸上からの建設が可能である。
	事業を実施するために必要と考える行政支援・その他要望等	自治体、各省庁との調整のご協力 住民、漁業関係者との調整のご協力
	自由意見	